

渡辺ハウジングOBの皆様と  
未来のお客様にお届けする

# やすらぎ通信

渡辺ハウジング  
03-3959-8743



先週ついに、関東地方にも梅雨入り宣言が出されました。これから7月の半ば頃までは、気まぐれな空模様と、にらめっこの日々が続きそうですね。

しとしと降り注ぐ雨は、大地や樹木を潤し、特に農作業に関わっている方たちにとっては大切なものであり、私たちの生活においても欠くことのできない資源です。

反面、洗濯物が乾きにくい、カビや食中毒も心配・・・など憂鬱な時季でもありますね。



体調を崩したり、気持ちが落ち込んだりする方もいらっしゃるかもしれませんが、そんな時にはゆっくりお風呂に入ったり、読書や音楽を楽しんでみては如何でしょうか？

天候に負けず、せめて気持ちだけは晴れやかにいたいたいです。どうぞお元気でお過ごし下さい！！

## 快適に生活をするために！（16）

住宅は、他の商品と異なり、住まい方、手入れの仕方で寿命が長くも短くもなるものです。

引き続いて、いつまでも快適に暮らすための参考となるポイントについてお伝えしていきます。

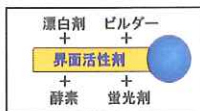
今回は、住まいのお手入れについてです。

### 【ゴム手袋の着用】

洗剤は、油を分解・除去する性質をもつため、直に触ると手荒れの原因になりますので、保護のためにゴム手袋を着用しましょう。

### 【界面活性剤について】

洗剤の主成分は、界面活性剤です。



ひとつの分子の中に、水と油の両方に馴染む性質を持ち、浸透・乳化・分散・再汚染防止作用で汚れを取り除きます。

### ① 浸透作用

界面活性剤は、水の表面張力を低下させます。

そのため、洗剤を水で薄めて使うことで、洗剤が繊維の内側まで浸透します。

### ② 乳化作用

界面活性剤が油を包み込み、細かい粒子にすることで水と油が混じり合い、油汚れを落としやすくします。

### ③ 分散作用

界面活性剤は、団体粒子の汚れを分散し、泥汚れなども落とすことができます。

### ④ 再汚染防止

洗剤液に汚れ物を浸けておく場合、一度落ちた汚れは、界面活性剤が包み込むため、再付着しにくくなります。



次号に続く

## 「ジューン・ブライド」

皆さんもご存知とは思いますが、昔から、ヨーロッパでは6月に結婚した花嫁は幸せになれると言い伝えられています。

何故なら、4月・5月は、ヨーロッパが農業の繁忙期であるため、結婚式を挙げることはあまり歓迎されないようです。

そのため、繁忙期が過ぎた6月に挙式するカップルは皆から快く祝福を受け、幸せになれると考えられています。

日本では、6月は梅雨のシーズンを迎え、降雨量の最も多い時季と重なりますが、天候には関係なく結婚式を挙げる人が多いのは、やはり「ジューン・ブライド」の言い伝えが影響しているようです。



幸せに水を差すようで申し訳ありませんが、日本にジューンブライドが普及した陰には、ブライダル業界の企業戦略(?)があるという一説も存在しています。

今の時代こそ  
フェイス・ツー・フェイス



高度情報化社会といわれている現在は、皆さんも既にご存知の通り、インターネットであらゆる疑似体験ができるようになっていきます。

例えば、家から一歩も出ないで世界の景色を見ることが、あらゆる情報を得ること。また、ネット上で普段のショッピング以上にたくさんの商品を見比べ、購入できること。そして更には、映画やテレビの番組までもがインターネットを通じて見られるようになっていきます。

今までの時代を振り返ってみると、人間は、動力の発達で、力仕事を強いられることはほとんど無くなり、電気の発達で自然の力をあまり必要としなくなりました。そして、ある程度はコントロールできる術を身に付けているので、夜になり暗くなれば電灯で明るくできるし、寒さ・暑ささえエアコンで部屋の温度を調節できます。

そして又、通信網の発達で、わざわざ用事のある相手の所まで出向かなくても、家に居ながらにして話ができるしまうのです。

更に、パソコン通信は相手の顔も何も判らないのに気軽にコミュニケーションがとれる・・・もはやそこには、人間の姿は必要ない時代にまでなってしまうのです。

現代は、家に居ながらにして、情報を手に入れ、家に居ながらにして、欲しいものを入手できるという非常に便利で迅速な時代になったと思います。

しかし、その裏では人と人との対話そして商品に触れ素材や商品そのものを理解する

ことや、営業マンや店員さんたちと話をして信頼関係を築きあげる大切さが薄れてきているように思えます。

つまり、フェイス・ツー・フェイスで人と話をする機会が減り、自分の気持を表す方法が段々無機質で味気ないものになってきたように感じます。

本来ならば、相手の表情を見ながら、そして相手の声を聞きながら言葉を交わすことで、温かさが伝わったり信頼感が生まれたりするものではないでしょうか？

IT社会で発達した技術が次々と発明され、人と人が向かい合って話をする機会が減っている今こそフェイス・ツー・フェイスによるコミュニケーションの重要性をあらためて感じます。

お互いの温もりが感じられる豊かな人間関係を築くうえで、今まで以上に意義のある大切なことではないかと思えます。

皆さんはどうお考えでしょうか？



「編集後記」

様々なIT機器の発達で世の中はずいぶんと変わりました。現代は、忙しい人たちが増えているので上手に使えばとても利便性が高いものと評価されますが、反面、人と人の触れ合いが薄れて寂しいと感じたり、また時には、悪用されての犯罪がおきたりもしています。

全てのことに二面性があり、どちらが良いとか悪いとかは決められませんが、機器に振り回されるのではなく、人の心を最重視した温もりを感じられる社会であってほしいと願います。

さて、今年もいよいよ梅雨のシーズン到来です。

不順な天候にめげず、どうぞお元気で過ごして下さい！

今月もお読みいただき有難うございました。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせ下さい。

編集責任者 渡辺 田鶴子